

令和元年度第2回地域協議会議事録

【日 時】 令和元年12月17日（火）13時30分 ～ 14時10分

【場 所】 JCHO群馬中央病院 別館2階大会議室

【出席者】

武藤 幸夫（群馬県健康福祉部長）柳 邦広（医療課医療計画係長）代理
中島 實（前橋市副市長） 狩野 尚彦（保健総務課長）代理
関 俊夫（前橋市消防局長） 作宮 朗（消防次長）代理
川島 崇（群馬県医師会副会長）
田中 義（前橋市医師会会長）
家崎 桂吾（前橋市医師会病診連携担当理事）
西田 保二（群馬県済生会前橋病院病院長）
内藤 浩（JCHO群馬中央病院院長）
寺内 正紀（JCHO群馬中央病院副院長）
伊藤 理廣（JCHO群馬中央病院副院長）
江連 正彦（JCHO群馬中央病院事務部長）
坪井 ちえみ（JCHO群馬中央病院看護部長）
鈴木 達宙（JCHO群馬中央病院薬剤部長）

【欠席者】

矢嶋 美恵子（群馬県看護協会専務理事）
下山 常吉（紅雲町一丁目自治会長）

【議 題】

1. 地域における当院の役割
第2期中期目標期間（2019～2023年度）における取り組みについて
2. 当院に対するご意見・ご要望
3. その他

【議 事】

内藤院長： 本日は、大変お忙しい中、ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。
（議長） 令和元年度第2回群馬中央病院地域協議会を開催いたします。

私共は、公益性を以て運営する独立行政法人であり、地域に求められる医療を提供することが役割となります。その根幹になるものが、地域協議会で皆様から頂いたご意見・要望等であり、それらを病院運営に反映させていくこととなりますので、本日はよ

ろしくお願いいたします。

江連委員：今回は委員の変更はありませんので、代理出席の方をご紹介します。

(代理出席)

群馬県健康福祉部長 武藤 幸夫 様 柳 邦広 様 (医療課医療計画係長)
前橋市副市長 中島 實 様 狩野 尚彦 様 (保健総務課長)
前橋市消防局長 関 俊夫 様 作宮 朗 様 (消防次長)

(欠 席)

矢嶋 美恵子 様 (群馬県看護協会専務理事)
下山 常吉 様 (紅雲町一丁目自治会長)

なお、自院代表委員であった北原 陽之助 (JCHO群馬中央病院副院長) におきましては、10月末で退職いたしましたので委員の職を解くこととなりましたのでご報告いたします。

【議 事】

議題 1. 地域における当院の役割

第2期中期目標期間 (2019～2023年度) における取り組みについて

議 長：独立行政法人地域医療機能推進機構は中期目標管理法であり、厚生労働大臣が定めた中期目標に対し、病院毎に年度計画を策定し、計画達成の評価を受けています。第1期中期目標は、紹介率・逆紹介率が目標の一つであり、目標評価項目の10項目のうち3項目でA評価を頂いており、満足できる結果となっています。

第2期中期目標が始まり、新たな目標が設定されており、中核病院は救急搬送応需率85%以上、中核病院を補完する病院は地域包括ケア病棟の在宅復帰率85%以上が目標として掲げられております。その他の目標では、予防・健康づくりの推進として、地域住民への教育・研修事業の実施、介護事業としては、老健施設の在宅復帰率55%以上、利用者の視点に立った医療・介護の提供では満足度の向上、教育・研修事業においては、特定行為研修や医療・介護従事者への教育・研修事業の充実が掲げられております。また、業務運営の見直し・効率化による収支の改善、財務内容の改善等が目標に掲げられています。当院は、目標に対して重点的に取り組み、黒字経営が継続的に行われております。

そこで、本日の会議で皆さまに中核病院として救急搬送応需率85%以上か、中核病院を補完する病院として地域包括ケア病棟の在宅復帰率85%のどちらが当院に求められているのかご意見を頂き、どちらを選択するかお諮りしたい。私としては、地域の中核的病院であり小児・周産期、救急医療及び外科・消化器等の急性期疾患の診療を担っているので、中核病院として運営していきたい。その上で、地域に求められる地域包括ケアの推進、在宅医療の支援を行っていきたくと考えております。

川島委員：全ての診療科で基準を満たすのは厳しいと思うが、前橋地区の病院として救急受入を継続していただきたい。

田中委員：開業医の立場からは、高齢者を含めて救急搬送を受けて貰えるのはありがたい。

- 家崎委員： 救急搬送を83%の受入れをしているのは、思ったよりも受けて頂いている。
- 柳 委員： 前橋医療圏内における救急搬送受入れについては、群馬大学、前橋赤十字を含めて5番目の受入状況になるかと思いますが、地域包括ケア病棟の入院は院内からが多いのか。今後も中核病院としてお願いしたいと思います。
- 狩野委員： 前橋市としては、地域包括ケア病棟も持っているもので、急性期から地域包括ケア病棟を活用し運営するようお願いしたい。役割的には、中核病院として推進していただきたい。
- 西田委員： 地域医療支援病院であり、救急を行うことがミッションとしてあるため、中核病院として運営するようお願いしたい。
- 作宮委員： 平成30年は、15,573人の救急搬送依頼があり、群馬中央病院で1,424人(9.1%)、令和元年は13,910人の搬送依頼に対し1,369人(9.8%)の受入れをお願いしている。今後とも、中核病院として救急医療に協力願いたい。
- 議 長： それでは、委員の皆さまのご意見を参考にさせていただき、中核病院として運営していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

議題2. 当院に対するご意見・ご要望

- 川島委員： 在宅協議会を担当しているが、来年度検討するときに、連携について協力していくといいのではないか。
- 田中委員： 来年、高校総体が予定されており、37名の医師派遣を予定しているため、ご協力願いたい。
- 家崎委員： 総合内科をもっとアピールした方がよいのではないか。
- 柳 委員： 現在、臨床研修医6名となっているが、今後も研修医確保にご尽力願います。
もう1点、国から地域医療構想が示され調整会議等で議論が行われるので、よろしく願いたい。
- 狩野委員： 前橋市としましては、引続き2次救急医療機関の役割をお願いしたい。また、行政として災害訓練を実施しましたが、災害拠点病院として災害医療に協力をお願いしたい。
- 西田委員： 2025年の地域医療構想に向けて、地域中核病院として連携をお願いしたい。
- 作宮委員： 自然災害に限らず訓練を行っているが、収容した患者さんは病院にお願いするしかないため、受入体制を含めて今まで以上に連携を密にしていきたい。

議題3. その他

- 西田委員： コンプライアンスの問題で、薬剤等談合の話があり、事業体として透明性を高められるよう対応しているが、独法としてどのような対応を行っているのか。
- 江連委員： 他にご意見がなければ、以上で閉会とさせていただきます。本日は、長時間に渡りご協力いただきましてありがとうございます。